

千葉県議会議員

ふじしろ政夫 と共に県政・市政を変えよう！

発行 ふじしろ政夫

政務調査報告ニュース 2015年12月号

〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50

TEL & FAX 047-445-9144

Eメール masao.fujishiro@zc.wakwak.com

ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

シールズと私達の課題

民主主義ってなんだ！



「戦争法案廃止！」「安倍退陣」と毎日国会正門前でデモをして、新しい政治潮流とマスコミから注目を浴びているシールズで活動している大学生から話を聞く機会がありました。

ネットのツイッター上で結びつき、それぞれの意思と思いで作業に参加。組織という組織ではなくゆるいネットワークの中で役割分担しての活動。首都圏では



国会前でコールするSEALDs.

ライン上に名前を出している人は100人～180人とのこと。参加した契機はヘイトスピーチへの対抗運動から、特定秘密保護法強行採決への抗議、集団的自衛権行使容認閣議決定の説明の仕方がおかしいと思ったからなど。

60歳前後の人たちからの質問への回答の中に、シールズという形で動き出した大学生の活動のあり様が少しずつ見えてきました。

Q. 来年の参議院選挙はどうするの？

・「それぞれ各自が考えていくのが大前提として、議員に任せるのではなく、又裏切られたというのではなく、議員に私達の言うことを聞かせるのだ」とこれまでのように議員を選びだせば良いとは思っていない点が明らかに。

・また「民主主義、立憲主義をやっていくので民主主義の形を求める」「普通にデモが出来る社会がいい」「デモの自由=言いたいことが言える事が必要」とこれまでのデモンストレーションの行動と選挙とのバランスを考えているようでした。

・そして「シールズは来年の参議院選挙で解散

する」との答えが。

Q. シールズの行動原理は？組織論は？

・「オカシイと思ったらオカシイ！」と「考える、議論すること」と。それ故「所謂ちゃんとした組織ではない。トップダウンではない」「代表に自分の意見を任せることはない。自分たちで考えてやっていく」「言いたしつぺが動く」と。

Q. マスコミについては？

・「今日のマスコミは両論併記が多く自分の意見はなく本質をついていない」「私達は自分で情報を集めて分析する必要がある」と自分にひきつけた意見が表明されました。

その他、日本のおかれていた状況について「多数決民主主義が行われ、同調圧力が強い」

ので「集会の自由」がありながら、オカシイ

ことをオカシイと言えない空気がある」と指摘しました。そして、「民主主義は投票ではな



く、直接民主主義だ」との回答がなされました。

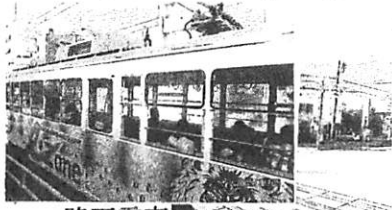
シールズに係わり運動した大学生が答えた、非常にナイーブでシンプルな回答の中に、戦後70年間『組織』が忘れて来た民主主義の原点があるのではと思われました。

国会前に自分の意思で参加した若者・母親・学生・高齢者各層のムーブメントの中にこそ今の難しい課題への解決の道筋があるのでは・・・

㈱まちづくり とやま

＜商工労働企業常任委員会 視察報告＞

平成 12 年に富山市 (50% 出資)、富山商工会議所、中小企業者等で 3000 万円の出資額で『㈱まちづくり とやま』が設立され、中心市街地活



路面電車

性化基本計画に基づき事業を展開。市のコンセプトである“コンパクトシティ”“公共交通の整備”にあわせて、コミュニティバス「まいどはや」を運転。市電やライトレールを連結してのまちづくり。中心市街地の面積は 440h (富山市の 0.3%) で富山市の税収の 23% がこの地域からあがるとのこと。事業展開の成果として通行量は目標の 32,000 人に達していますが、公共交通の収支は補助金によるバランス。

商店街の売上はあがっておらず、中央通商店街では大きな店舗でのシャッターが目立っているとのこと。総曲輪通り 50 店舗中 6 店舗に後継者がいない状況。

個々の事業の中で、市内の農林水産物の販売場“地場もん屋”は売上アップ。年商 2 億円に。また、ガラス張りの広場グランドプラザ (事業費 15.2 億円) は稼働率 90% (土・日 100%) で多くのイベントで集客効果をあげている様です。

非常に厳しい状況の中での中心市街地活性化ですが、将来の目標として“医療・福祉”“安全・安心”“健康と文化的”をあげている点が興味をひきます。

コンパクトシティ・公共交通の LRT と医療・福祉が結びつきの商工振興への方向性は、地域分散的産業構造の一形態だと思われます。

コンパクトシティ・公共交通の LRT と医療・福祉が結びつきの商工振興への方向性は、地域分散的産業構造の一形態だと思われます。

お知らせ

◆千葉県議会 12 月定例会 (予定)

開会 11/25～閉会 12/18

質疑・質問 12/1～

常任委員会 12/10～

◆共通番号制度の廃止を求める 12.12 集会

12/12 14:00～ 連合会館 会費 500 円

◆法律弁護士無料相談 要予約：ふじしろ迄

1/23、2/20、3/26、4/30 13:00～



鎌ヶ谷で初めてゾーン30



鎌ヶ谷小学校周辺・中央・南初富のうち船取線、千葉鎌ヶ谷松戸線、市道 15 号線、市道 18 号線、市道 11 号線に囲まれた地区

を“ゾーン30”地区とし、地域内はすべて 30KM/h 以下にする事業が始まろうとしています。

11/15、鎌ヶ谷小学校体育館にて地区内の人々への説明会がありました。幹線道路から生活道路に通過交通として入ってきてしまう状況に対し、生活圏に車が入ってくることを減らして交通事故を減らすのが目的とのこと。すでに全国で 1111 ケ所以上整備 (船橋 7・松戸 7・柏 3 か所) され、平成 28 年度までに約 3000 ケ所を整備目標としています。

鎌小前の道路のセンターラインを消し、車道を狭くしグリーンゾーンをつくったりすること。住民からは「スクールゾーンとの関係は?」「鎌小以外の地区にも拡大してほしい」「車道と歩道との分離を」「ゾーン 30 により周辺道路への影響は?」「障がい者や高齢者への配慮もしてほしい」等の意見が出されました。



警察と市の回答は「ゾーン 30 に指定してもスクールゾーンはそのまま」「初小地区や五本松小地区の住民からも要望があり今後拡大を検討していく」「歩道としてのグリーンゾーンだけでなくポールの設置も」「周辺道路への対応は当初信号機の調整で」「住民を交えての検証報告もしていきたい」とのこと。

地区内の人身事故の発生件数は H25～H27 の 3 年間で 36 件。交通安全の為住民と行政との協働という形で事業展開していくと思われます。

地区内住民の住みやすい住環境をつくっていく為の一手段として活用していきたいものです。

“私たちはあきらめない”

●『戦争法の廃止を求める統一署名』

* 来年 4/25 まで 2000 万人署名で廃止へ

* 署名簿あります。皆で署名しましょう

●毎月 19 日行動 “戦争法は廃止”

* 国会正門前デモ 18:30～